

# WORKSTYLE 2020

## WITH Turning POINT

### Chapter 011

医療法人社団衆望会うすい歯科・  
矯正歯科クリニック インプラントセンター

TEXT BY KOSUKE YUZUKI INTERVIEW BY AKIRA ISHII  
PHOTOGRAPHS BY TAKUMI SATO(LAUGH-MIX) DIRECTION BY NAOKI OTA

#### 仕事も学びも趣味も全力で

最新鋭の設備と高い技術、妥協なき治療で、矯正・インプラントをはじめ、あらゆる口の中の問題をケアし、厚い信頼を得ているうすい歯科・矯正歯科クリニックの臼井龍一氏。若い歯科医からも慕われるその全力投球の仕事スタイルのモチベーションを探った。



医療法人社団衆望会うすい歯科・  
矯正歯科クリニック インプラントセンター 理事長

# 臼井 龍一

#### PROFILE

1989年、東北歯科大学卒業。1993年、うすい歯科医院を開院。2000年、医療法人社団衆望会を開院。2002年、歯学博士号を取得。2012年、USC（南カリフォルニア大学歯学部）客員研究員。2014年、ICOI（国際インプラント学会）Diplomate（指導医）、日本口腔インプラント学会専修医。日本矯正歯科学会会員、日本口腔外科学会会員。

「クリニックにお邪魔していますが、開放感、明るさがある、歯科医院であることを忘れてしまっています。」

「歯医者さんっぽくないクリニック」が開業当初からのテーマです。誰でも子どもの頃、歯医者さんに怖い印象を持ったことがあると思います。その恐怖感を与える要素は、全世代、すべての患者さんにとって歯科医院にマイナスの印象を与える原因。当院では、外光を取り入れる大きなガラス窓、治療の音を最小限にする機器、リラクセスできるアロマや音楽、広いキッズルームと保育士資格をもつスタッフなど、歯医者さんへのネガティブな印象を払拭する工夫を施しています。

——治療の面での特徴を教えてください。

最も多い治療は矯正とインプラントですが、むし歯や歯周病、小児歯科、全て高いレベルで行えるクリニックを目指しています。国内外の最新技術を学び、歯科用CT、セレックなどの機器も積極的に導入。治療時はマイクロスコープを常に着用し、髪の毛の細さほどのズレも見逃さない矯正治療、病巣を正確に見極める根管治療を行っています。「最愛の人が安心してかかることができる医院」をモットーに、妥協や手抜きをしない治療を心がけています。

——遠方から来られる患者さんも多いと聞いています。

当院は東京の多摩地区にありますが、都心や他県

<https://www.usui-dental.com/>  
本社所在地：東京都羽村市六作台1-2-11

事業内容：歯科・矯正歯科、インプラント、審美歯科など

# RYUICHI USUI From USUI-DENTAL

などからお見えになる方も多くなっています。とくに矯正治療は、問題が発生しなければ来院は月一回程度でよいので、アクセスの良さよりも治療の質で選ばれる傾向があります。開業当初から様々な要望をいただく中で、学校や勤務先が休みの日にも診察してほしいとの声も沢山ありました。そのため当院では、土曜日も診察を行っています。

——ご多忙中、お休みの日はどのように過ごされていますか。

休みがほとんどない状況ですが、小学生の娘との時間を大切にしています。また、私の趣味はサーフィン。海と太陽を見ると心が浄化されて、仕事の活力になります。疲れていても、今日は良い波が来そうだなと思うと、いてもたってもいられます(笑)。仕事も趣味も全力で行うことで、心身のバランスが取れている感覚です。

——さらに学会やセミナーなどにも積極的に参加されているそうですね。

歯科にはある種「流派」のようなものがあり、それは特に矯正に多いのですが、先生方がそれぞれ勉強し、手掛けてきた治療法に「だわり」があります。それは悪いことではありませんが、自分のやり方の外に目を向けず、ほかを批判する傾向もあり、疑問に思っています。とくにインプラントで使用する材料、薬剤、技術の進歩は日進月歩。学会やセミナーなどで新しい知識

を身に付け、治療法、機器、材料を自分の目で見て、良いものはコストに関わりなく使いたいという気持ちがあります。

また大切にしているのが、尊敬できる先生に直接会いに行くこと。私のキャリアの転機には常に人との出会いがあります。例えば、留学したアメリカの南カリフォルニア大学(USC)歯学部のCE(Continuing Education)臨床コースの先生からは、技術や医療者としての心構えにおいても多大な影響を受けています。また今現在、私自身が歯の矯正治療をしているのですが、それは国内の尊敬する先生の治療を受けるため、患者になるのが学びに一番良いと思ったからです。残念ながらその先生は亡くなられてしまい、今はお弟子さんに治療していただき、受け継がれる技術と精神を体感しています。当院でも歯科医の研修に力を入れており、向上心がある若い先生方に少しでも良い影響を与えられたいですね。

——最後に、活動的な臼井先生の原動力は何でしょうか。

後悔したくないという気持ちだと思います。私にとって治療は作品のようなもので、後で写真を見た時に「もっと良い方法があったのに」と思いたくない。だからこそ、その時のベストを尽くせるよう、知識と技術を磨く。人生の時間は限られているからこそ、仕事にも勉強、また趣味でも、悔いを残したくないのです。